

2009年 1月 15日

市川市長

提案者

緑のみずがき隊

隊長・谷藤博喜 市川市柏井町 4-329-5 047(337)1650

市川緑の市民フォーラム

事務局長・佐野郷美 市川市曾谷 7-24-3 047(373)3219

真間川の桜並木を守る市民の会

事務局・鳥居雪子 市川市八幡 6-9-6 047(333)0852

市川市市民等の市政への参加の推進等に関する要綱第 12 条第 4 項の規定より、別紙政策等の案その他必要な事項を添えて協議します。

【必要事項】

1 提案する政策等の名称

大柏川流域の「水と緑の回廊(コリドー)」づくり(第二次)

2 提案の内容、要旨

提案の内容、要旨については、第一次市民政策提案と同様、以下の通りです。

私たちは、一昨年2月、「都市計画マスタープラン」みどりの基本計画」に謳われている、東北部の地域づくりの目標である「豊かな自然環境を大切に育み、自然や歴史と共生した住みやすいまちづくり」や「里地、里山を生かしたもちづくり」を実現するために、大柏川流域の「水と緑の回廊(コリドー)構想」の提案を行ないました。

その後、貴市において市民政策の提案制度ができましたので、「水と緑の回廊構想」をさらに具体化し、東北部の住みやすいまちづくりに向けて、市民政策づくりの検討を続けてきました。

そのために、貴市の後援をいただき、2006年8月～2007年4月まで同構想を4区域に分けて現地見学会「水と緑の探検」を4回延べ99人の参加で行い、すでに貴市には報告書にまとめ提出させていただいております。さらに、2007年7月からはこれら見学結果を基に分析・評価の検討会(2008年2月現在までで4回実施)を重ね、別添のような「水と緑の回廊基本計画」にまとめてまいりました。

この「水と緑の回廊基本計画」は、前述の構想に基づき、自然と人が共存し、市民が暮らしの中で生きものと豊かにふれあえる場を保全・再生・創出する「まちづくり」として、別添市民政策提言書として区域毎に短期・長期の政策に分け明示しています。

3 提案の目的、理由

提案の目的、理由については、第一次市民政策提案と同様、以下の通りです。

近年都市化の進展に伴って、自然環境の消失・縮小・分断化が進み、多くの生きものの生息・生育空間が孤立してきています。市川市も例外ではありません。

このような状況の中で、都市における「水と緑の回廊（コリドー）」づくりのねらいは、一つは、都市内の生物多様性の維持・増大と生き物とのふれあいの場確保であり、二つ目は、都市内の自然環境が保持する多面的な環境保全機能の発揮と、それによる豊かで潤いのある都市の創造です。

では、具体的に市川市東北部ではどうでしょうか。

市川市の東北部に位置する大柏流域は、かつては台地に梨園などの耕作地や山林、大柏川沿いの低地に水田が広がっていましたが、昭和40年代以降、水田が消失し住宅や霊園の開発が進みました。現在でも市域の中で最も自然の豊かな地域ですが、都市化の進展に伴って、自然環境の分断・縮小・消失が進み、多くの生きものの生息・生育空間が孤立してきています。

私達は、三十年に及ぶ真間川の環境保全、北方遊水池の自然環境復元、休耕田の再生と環境教育など、暮らしの視点から自然と文化を守り育てたいと地道に取り組んでまいりました。これら活動を通じて、個々の保全だけでなく残された自然環境を「水と緑」でネットワーク化し地域全体の生態系のポテンシャル（生きものの生息・生育環境の質、種多様性）を向上させる総合的な対策が必要であるとの考えに至りました。

具体的には、貴市のまちづくりの上位計画を基本にして、多くの生物種を保全するためには、種の供給源となる一定規模以上の水辺や樹林、草地などを確保するとともに、それらを相互に連結して生きものの生息・生育空間を保全・再生・創出し生物の移動を保障する「水と緑の回廊（コリドー）」づくりを「市川市のまちづくり」として取り組むことです。

4 提案が実施されることによる効果

提案が実施されることによる効果については、第一次市民政策提案と同様、以下の通りです。

都市環境（自然）の維持・改善

- ・地球環境問題としての都市の役割増進
- ・ヒートアイランド等都市気象の調節
- ・光化学スモッグ、吸塵、防塵等大気の浄化

都市の防災機能

- ・都市の治水、災害時の避難地、延焼の防止、騒音の防止、

都市生活の活性化

- ・休養、散策、レクリエーション等アウトドアへの健康増進
- ・自然観察、環境学習等自然とのふれあいを通じた余暇活動の促進
- ・市民の行政や企業との協働事業の参加促進
- ・地域コミュニティ活動の促進

都市生活の精神的充足

- ・日常生活の中での自然とのふれあいを通じた充足感の醸成
- ・多様な生物とのふれあいによる心の安らぎと生活の心の安定醸成

都市景観

・美しい都市景観を作る

・都市生活における快適な環境を作る

次世代の子供たちに引き継ぐ、すばらしい都市環境づくり

5 提案が実施されるときに要する費用

短期政策は、ほとんど費用の掛からない提案が多いが、大野調節池の改良についてはフェンス改良、池掘削等の費用が掛かります。

長期的政策の中では、特に「うしろ谷津里山公園」の提案は設計案作成、松戸市との協議、農地運営の検討、地権者交渉、用地買収等のために事業内容を検討し協議交渉する期間や多くの予算を準備する必要があります。

なお、開発の進んだ都市の自然を保全し・創出する事業は、知恵と労力と費用を要しますが、何と云っても一番は21世紀の地球環境を見据えたまちづくりに対する決意だと思えます。

6 その他参考となる資料

特になし